

呉服地区活動計画



笑顔で声かけ 見守りのまちくれは

呉服地区に住んでよかった、いつまでも住み続けたいと思うまちをめざして、いろいろな団体が協力して、自分たちができることから、取り組んでいきます。

呉服地区の理想の地域

- 高齢者や子どもなど多世代の居場所がある
- 高齢者や子どもなど地域の人が交流できる
- 高齢者が安心して暮らせる
- 困った時に「助けて」と言える
- 気軽に声を掛け合える
- 顔の見えるつながりがある
- 支え合い、助け合える
- お祭りやイベントがたくさんある



理想の地域を
実現するために

①人をつくる

- 子どもたちをみんなで見守ることで、成長したときに見守る側になってもらえる
- 元気な高齢者が子どもの見守りを行う
- 地域活動の協力者を増やす
- 子どもたちや親などが一緒にボランティア活動を行う
- 他の人のために自分の得意なことを活かす



②居場所をつくる

- 町内会単位で誰でも参加できるサロンの開催
- 介護施設などでこども食堂の実施
- 無料で勉強やいろいろなことを教える場所の開催
- 不登校の子などの居場所づくり
- ひきこもりがちな高齢者の居場所づくり



③つながりをつくる

- 学校とのつながりづくり
 - ・子どもから地域に関わる機会を作る
 - ・学校に地域の方を招く機会を増やす
 - ・校区探検や地域訪問の時に子どもたちを見守ってもらう
 - ・地域の人が学校の手伝いをする
- 外国の人たちとのつながりづくり
 - ・外国の子どもたちへ日本の料理を教え、外国の人たちからも外国の料理を教えてもらう
 - ・母国語教室に地域の人に来てもらい、言葉だけでなく文化も伝えあう
- 地域のつながりづくり
 - ・マンション内でのつながりをすすめる
 - ・子どもたちの親と地域とのつながりをすすめる
 - ・ひとり暮らし高齢者の見守りを行う
- イベントの実施
 - ・炊き出し、市民レクリエーション、盆踊りなどに子どもや高齢者が参加し多世代とつながる
- あいさつ
 - ・あいさつ運動の実施



まったりサロン(多世代交流)



高齢者見守り活動



住民懇談会